

第31回リスニング英語検定試験実施結果

(基準日：令和7年10月10日)

公益社団法人 全国工業高等学校長協会

はじめに

令和7年度 第31回リスニング英語検定試験の実施に際しまして、関係各方面の皆様方の多大なるご尽力を頂戴し、心より感謝を申し上げます。

文部科学省による全国の公立中学高校を対象にした2024年度「英語教育実施状況調査」の結果として、英検3級相当（身近な英語を理解し使える）以上の英語力がある中学3年生は52.4%（2023年度比+2.4ポイント）、英検2級相当（日常生活に必要な英語を理解し使える）以上の高校3年生は51.6%（同+1.0ポイント）となったと公表しました。「増加傾向だが世の中が期待する日本の英語教育との落差はまだみがある」と課題も強調しています。また、工業教育を学んだ卒業生が就職する各種企業においても、今後の経済成長を実現するために海外の成長市場の取り込みが不可欠であり、さらなる日本経済のグローバル化の必要性を経済産業省も示しています。

こうした状況下において、これからの子供たちが社会的・職業的に自立した人間として、英語のコミュニケーション能力の向上は、重要な位置付けとなります。特にリスニングは、英会話の基本であり相手の言いたいことを理解することで、より良いコミュニケーションが可能となります。

本検定試験は、工業教育を学ぶ高校生が基礎的な英語力を身に付ける重要なステップとして、リスニングの重要性を鑑み、実務で役立つスキルとして工業に関連する英単語や文章の聞き取りを中心に構成しています。ビジネスや学術など様々な場面で必要とされる英語力として、今後も、本検定試験の実施を通じて、受検者がコミュニケーション能力を向上させ、キャリア教育の推進に寄与することを期待いたします。

以下、第31回リスニング英語検定試験の結果についてまとめましたので、ここに報告いたします。

リスニング英語検定委員会

第31回リスニング英語検定試験実施要項

1. 主 催 公益社団法人全国工業高等学校長協会
2. 目 的 国際社会に貢献できる人材の育成を目指し、基礎的・基本的な工業技術英語の表現や会話のリスニング能力を向上させることを目的とする。
3. 内 容 と 程 度 英会話におけるリスニング能力を試験するもので、次の3タイプの問題で構成している。(所要時間 30 分前後)
Part 1 英文の内容に合う絵を選ぶ問題 (10 問)
Part 2 絵の内容に合う英文を選ぶ問題 (10 問)
Part 3 英文や会話文を聴いて、質問に答える問題 (20 問)
4. 基 準 日 令和7年10月10日(金)
試 験 期 間 令和7年10月10日(金)～10月18日(土)
※試験実施日を試験期間以外に定める場合は、別紙の「[検定試験の実施日の変更を希望する場合の処置について](#)」に従うこと。
※原則として、**試験実施日を早める時は基準日の3日前迄とする(試験問題は基準日の1週間前を目途に送付し、早期発送は不可)**。
5. 実 施 会 場 受検を希望する学校
6. 受 検 資 格 在校生、及び会場校責任者が認めた者
7. 合 格 基 準 全て同一の問題で実施して、70点以上得点した者を合格者とし、得点により、90点以上を1級、80点以上を2級、70点以上を3級に認定する。
8. 検 定 料 1,050円(税込)
※理由にかかわらず返金しない。
9. 検定実施手順 [「WEB入力手順」](#)を参照のうえ、以下の手順で実施する。
 - ①受 検 申 込 **5月7日(水)から7月4日(金)**の間に、WEB上から申し込みをする。
なお、上記期間内であれば何度でもWEB上から変更が可能。申込内容は学校のFAXに自動送信される「検定・学力テスト申込受付のご確認」で確認する。
※学科・クラスごとではなく学校で一括して申し込む。
※「願書・受検票」が必要な場合は、ホームページより[ダウンロード](#)して利用する。
 - ②検定料の納入 **7月11日(金)**までに以下のいずれかで送金をする。
納入の際には「学校名+検定名」が明記・入力されているか必ず確認すること。
 - (1) ゆうちょ銀行
郵便口座 : 00160-4-96148
口座名義 : 公益社団法人全国工業高等学校長協会
※会員校に限り、リスニング英語検定試験用の「払込取扱票(払込料金加入者負担)」(赤色)を4月1日付けで学校長宛に送付する(この場合に限り、送金手数料のみ主催者が負担する)。なお、紛失の際は再発行不可。

※「払込取扱票（払込料金払込者負担）」（青色）を用いる際は、通信欄に必ず「**学校名＋検定名**」を明記する（送金手数料学校負担）。

※ゆうちょ銀行では、現金で支払う際は別途手数料がかかる場合があるため、詳細はゆうちょ銀行に確認する。

(2) りそな銀行

支店名・口座種類・口座番号：九段支店（普）134674

口座名義：公益社団法人全国工業高等学校長協会

※必ず「**学校名＋検定名**」を明記する（例：チヨダコウギョウコウコウ リスニングと入力する）。

※送金手数料学校負担

特記事項

※理由にかかわらず返金しない。

※「払込取扱票（払込料金加入者負担）」（赤色）の紛失や追加送金の際は、上記いずれかの方法で送金手数料学校負担の上、送金する。

※金融機関発行の振込明細書をもって領収書の代わりとする。

※検定料に係わる見積書、請求書は原則発行しない。必要な場合は本実施要項をもって各書類の代わりとする。

③ 検 定 の 実 施

試験問題は**実施日の1週間前を目途に送付する**。試験問題に同封の「リスニング英語検定試験実施細則」により厳正に実施する。

到着後、問題の部数を数え、その後は鍵のかかる金庫等で試験開始直前まで、問題の漏洩等がないよう厳重に管理すること。

検定試験実施後は問題・答案を速やかに回収し、実施日以降1ヵ月間は学校に保管するよう徹底すること。

④ 採 点

学校ごとに定める委員会で、別に定める解答により行う。

⑤ 合 否 決 定

学校ごとに定める委員会で審査し、当該学校長が決定する。決定後、その結果は発表しても良い。

⑥ 試験結果報告

10月31日（金）までに結果を集計し、WEB上から報告をする。

※合格者の有無を問わず、全受検校が対象。

※合格者の名簿は、各学校で保管すること。

⑦ 合 格 証 書

合格者には合格証書を交付する。

（合格証書の氏名・生年月日は学校で記入する。[合格証書印刷例](#)）

なお、認定日は試験結果報告期限日の**10月31日（金）**とする。

※合格証書は、到着後、直ちに部数を確認し不備・不足の場合は必ず**1ヵ月以内**に連絡すること。

※合格証書は速やかに記入・作成し、**必ず年度内に合格者に交付すること**（年度を越えた場合、理由の如何を問わず再交付不可）。

10. そ の 他

◇[実施結果](#)は全工協会WEBページに掲載する。

◇問題CDについては、別紙「リスニング英語検定問題用CDの申込について」をよく確認する。

◇スクリプトは実施結果に掲載する。

◇合格者は、「ジュニアマイスター顕彰制度」において合格級に応じた対象得点を取得することがでる。なお、本検定は複数回の受検を認めているが、ジュニ

アマイスターの得点は取得した最上位級のみとなる。

11. お 問 合 せ 本協会WEBサイトの「[＜検定Q&A＞よくあるお問合せ](https://zenkoukyo.or.jp/qa)」参照。

本協会ホームページ

<https://zenkoukyo.or.jp/>



検定試験・学力テスト



[＜検定Q&A＞よくあるお問合せ](https://zenkoukyo.or.jp/qa)

リスニング英語検定試験担当：水野

E-mail:mizuno@zenkoukyo.or.jp

リスニング英語検定問題用CDの申込について（依頼）

このたび、リスニング英語検定実施に向けて準備を進めております。

ご承知のように、この検定は音声出力による出題ですので、受検者に良く聞こえるような機器（全校向け放送設備または教室単位CDプレーヤー等）を準備してください。

また、検定に使用する機器により必要とする検定用CDの枚数が異なってまいります。

つきましては、検定実施に際して使用される機器を考慮し、必要とする検定用CDの枚数（使用する機器毎に1枚の割合で算出願います）を、WEB上の受検申込用ページの所定欄に入力し、ご報告ください。

※ 問題CDは試験問題と一緒に送りいたします。

※ 届きましたら、直ちに正しく聴けるか（音飛び等ないか）どうかを確認してください。

※ もし、正しく再生されないようでしたら本協会の担当者までご連絡ください。

※ 確認後は、試験実施まで厳重に保管してください。

お問い合わせ

公益社団法人 全国工業高等学校長協会

東京都千代田区飯田橋2-8-1

TEL 03-3261-1500

FAX 03-3261-2635

リスニング英語検定試験担当：水野 静佳

第31回リスニング英語検定試験の実施日の変更を 希望する場合の処置について

公益社団法人 全国工業高等学校長協会

令和7年度第31回リスニング英語検定試験の実施にあたり、基準日より9日間の試験期間内に実施日を指定できず試験期間外への変更を希望される学校は、別紙の「実施日変更届」のご提出をお願いいたします。

申すまでもなく、検定試験は厳正に施行して初めて価値があるものです。実施日を違えて実施した結果、万一問題の漏洩等が生じますと、検定試験の根幹に係わる事態ともなりかねません。今まで以上に厳重な試験管理をお願いいたします。

学校行事等の関係で異なる日時に検定試験の実施を希望される場合は、下記に従い手続きをお願いいたします。

記

1. 基準日及び試験期間内（10月10日～10月18日）に実施する場合。

※ WEB入力手順に従い、WEBページ上から報告してください。

2. 申し込みの際に入力した実施日に変更があった場合。

※ 受検申込の期限日までは、WEB入力手順に従い、WEB上から再報告をしてください。

※ 受検申込の期限日後は、WEB上から変更できませんので、検定担当者までメールでご連絡ください。

3. 基準日より1日でも早く実施する場合、及び9日間の試験期間より遅れて実施する場合。

※ 学校長をととして、別紙書式による「実施日変更届」を提出してください。必ず捺印のうえ、PDFデータをメールで提出してください。

（リスニング英語検定試験担当：水野 E-mail：mizuno@zenkoukyo.or.jp）

※ 原則として、**基準日より1日でも早く実施する場合は、試験問題作成・送付の関係上、試験実施日を基準日の3日前迄に設定するようにしてください（試験問題は基準日の1週間前を目途にお送りいたします）。**

また、試験日を試験期間より遅れて実施する場合は、結果報告の締め切りに必ず間に合うように試験を実施するようにしてください。

● 近隣の学校が大幅に遅れて検定試験を実施する場合も考えられますので、試験問題等の返却は一ヶ月後を目安に行うようお願いいたします。

以上

第31回リスニング英語検定試験実施日変更届

令和7年____月____日

公益社団法人 全国工業高等学校長協会 理事長 様

学校番号 _____

学 校 名 _____ 高等学校

校 長 名 _____ 公印

このことについて、下記のように実施日を変更したいのでお届けいたします。
なお、問題の漏洩予防等については十分に留意いたします。

記

1. 実施日について

基準日 10月10日（金）から ____月____日（____）に変更する。

2. 変更理由（簡潔に）

3. 実施日の変更が自校生徒及び近隣校の生徒におよぼす影響の予想について

リスニング英語検定試験対応
「工業英語BASIC BOOK（改訂版）」について（お知らせ）

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。本協会の事業につきましては、日頃より深いご理解と温かいご支援を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、リスニング英語検定試験対応「工業英語BASIC BOOK（改訂版）」についてご案内を申し上げます。生産現場でよく使われる基本用語・フレーズや、海外生活に必要な表現なども掲載し、実践的に工業英語を学べるよう工夫がなされています。また、付属CDには、全ページの英語が異なる速さで収録されており、第13章は実際の検定試験Part3と同形式です。なお、本協会からの直接購入特典として、本協会主催リスニング英語検定試験問題過去5年分の音声をお聴きいただけます。検定試験対策に是非ご活用ください。

リスニング英語検定試験は、この「工業英語BASIC BOOK（改訂版）」を参考にして出題されますので、ご採用くださいますようご検討の程、よろしくお願い申し上げます。

記

1. 図書名等 工業英語 BASIC BOOK（改訂版）

販 売 元	公益社団法人 全国工業高等学校長協会	
販 売 価 格	会員校価格：1, 120円（税込）（※）	
形 態	A5サイズ冊子＋CD1枚	
C D 収 録 内 容	第1章～13章全文を5タイプで収録。あらゆる学習進度に対応。	
	フォルダー名	収録内容
	1_natural and slower	自然な速さの英語→遅めの英語→日本語の順
	2_natural	自然な速さの英語→日本語の順
	3_slower	遅めの英語→日本語の順
	4_all English	自然な速さの英語のみ
	5_challenge	第13章をリスニング英語検定試験Part3の形式で収録
C D 形 式	データCD（MP3形式） MP3対応CDプレイヤー及びパソコン、タブレット等で再生	
注 文 方 法	学校から本協会へ添付専用注文書をFAX（会員校価格で販売、返品不可） ※書店等を通じて注文する場合は、コロナ社が販売（通常価格1,800円＋税）	

以上

《 問題集注文時の注意事項 》

[返本・交換] **返本・交換には対応できません。** 注文冊数・申込問題集等に間違いがないことを**必ずご確認の上**ご注文ください。

[注文方法] 注文書をダウンロードして、FAX またはメールでお申し込みください。
◇工業英語 BASIC BOOK (改訂版) のみの注文書は →ここから[ダウンロード](#)
◇本協会発行問題集の一括注文書は →ここから[ダウンロード](#)

[献本] 問題集の種類ごと 30 冊につき 1 冊を献本いたします。書店経由の申込には献本はつきません。

[送料] 学校から直接本協会にお申し込みの場合、送料は協会が負担いたします。

[支払方法] 問題集着荷後、同封されている請求書に基づき以下のいずれかでお支払いください。

口座名義 (各口座共通) : 公益社団法人全国工業高等学校長協会

① 郵便口座 : 001604-96148 ※払込取扱票を同封。紛失の際は再発行不可。

[会員校:赤色]払込料金協会負担 / **[会員校以外:青色]**払込料金払込者負担

② 銀行口座 : りそな銀行 九段支店 (普) 164374

払込料金払込者負担

以下に該当する場合は、「学校名+請求No.の頭文字」を明記・入力してください。

- 1) 郵便局備え付けの「払込取扱票 (青色:払込料金払込者負担)」を用いる場合や、「ゆうちょダイレクトサービス」をご利用の場合
- 2) 上記②りそな銀行口座 (ネットバンキングを含む) へお支払いの場合
(例: 千代田工業高校 K、チヨダコウギョウコウ KITP) ※計算→K, 情報→IT, 基礎製図→B, 機械製図→M, パソコン→P, グラフィック→G, 工業英語 BB→L

注意) ゆうちょ銀行では、現金で支払う際は別途手数料がかかる場合があるため、詳細はゆうちょ銀行に確認してください。

[最新情報] [最新情報](#)は本協会WEBページで随時更新しております。問題集に訂正がある場合は[正誤表も掲載](#)してありますのでご確認ください。

[その他] そのほか確認したいことがありましたら、担当者宛にメールで確認するか、[「お問い合わせフォーム」](#)からお問い合わせください。

工業英語BASIC BOOK（改訂版）

【会員校専用注文書】

公益社団法人 全国工業高等学校長協会 宛

月 日

学 校 番 号		学 校 名	
所 在 地	〒		
電 話 番 号		担 当 者 所属・氏名	

下記のとおり注文します

希望があれば○をつける

☐

納品書希望

書 名	定価(税込)	注 文 数	合 計
工業英語 BASIC BOOK（改訂版） CD（MP3 形式）付	会員校価格 1,120 円	冊	円

* 書店に注文する場合は通常価格（1,800 円税抜）です。

《 注意 》

※ ご注文はFAXにてお願いいたします。

※ 返本は受け付けておりませんので、冊数に間違いが無いことを確認のうえご注文下さい。

※ この注文書にて学校から直接全工協会に問題集をお申し込みの場合、問題集送料は協会が負担いたします。

※ 代金の支払いについては、問題集に同封する赤色（会員校、払込料金加入者負担）または青色（会員校以外、払込料金払込者負担）の払込取扱票をお使い下さい。「振替払込請求書兼受領証」をもって領収書に代えさせていただきます。なお、銀行振込・青色払込取扱票による代金振込手数料は注文者負担とさせていただきます。ゆうちょ銀行では、現金で支払う際は別途手数料がかかる場合があるため、詳細はゆうちょ銀行にご確認ください。

※ 1 回のご注文 30 冊につき 1 冊の献本となります。但し、書店経由の申し込みでは献本はありません。

※ 最新情報は本協会WEBページで随時更新しております。問題集に訂正がある場合は正誤表も掲載してありますのでご確認ください。

FAX 番号：03-3261-2635

令和7年度 第31回リスニング英語検定試験

1. 主 催 公益社団法人 全国工業高等学校長協会

2. 実 施 日 _____年_____月_____日（_____曜日）

3. 会 場 本 校

（日付・会場は各学校でご記入ください）

4. 検 定 内 容 英会話における リスニング能力 を試験するもので、次の3タイプの問題で構成している。

Part 1 英文の内容に合う絵を選ぶ問題（10問）

Part 2 絵の内容に合う英文を選ぶ問題（10問）

Part 3 英文や会話文を聞いて、質問に答える問題（20問）

※試験時間は約30分です。

5. 検 定 料 1,050円（税込）

6. 合 格 基 準 全て同一の問題で実施して、70点以上得点した者を合格者とし、得点により、90点以上を1級、80点以上を2級、70点以上を3級に認定する。

7. 合 格 証 書 合格者には合格証書を授与する。

8. 受検手続き 担当の先生に申込方法を確認し、指示に従う。

月 日までに

先生に申し込む。

主催者申込期限 7月4日

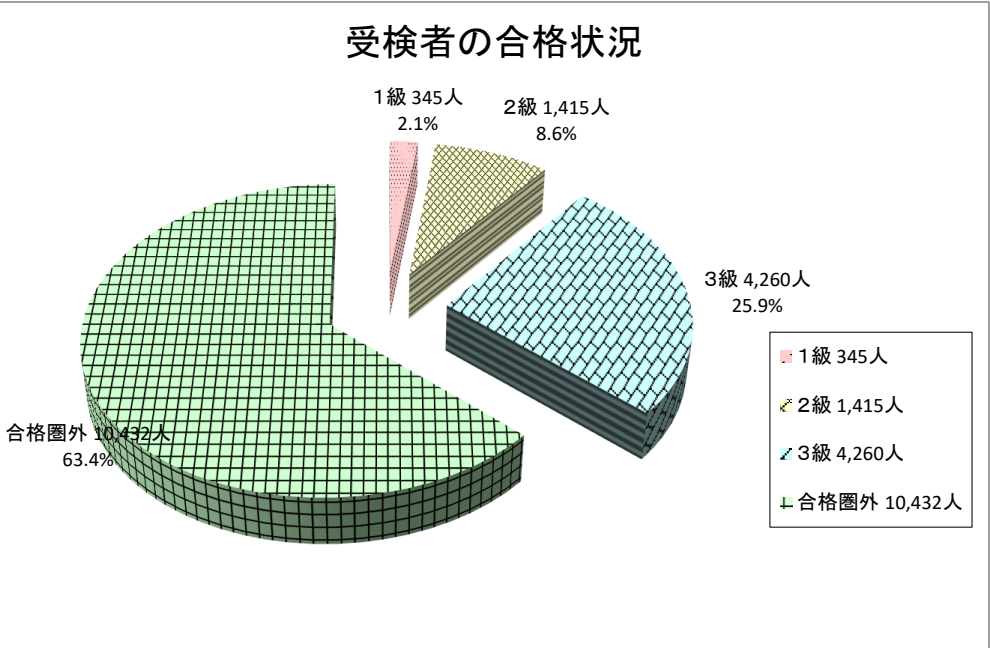
教室掲示用

第31回リスニング英語検定試験成績表

1. 実績データ
実施基準日 令和7年10月10日
申込者数 16,981名
受検者数 16,452名

2. 合格ラインと合格率

級	合格ライン	合格者数	合格率
1級	90点	345名	2.1%
2級	80点	1,415名	8.6%
3級	70点	4,260名	25.9%
合 計		6,020名	36.6%



年度別リスニング英語検定試験実績

回数	実施日	校数	申込者数	受検者数	合格者数 1級	合格者数 2級	合格者数 3級	合格者数 合計	合格率
施行	H06.06.07	98		22,524	1,159	2,368	9,992	13,519	60.0%
第01回	H07.05.20	96	10,846	10,673	18	87	2,138	2,243	21.0%
第02回	H08.05.18	92	8,782	8,641	181	709	4,355	5,245	60.7%
第03回	H09.10.04	107	9,498	9,082	468	1,237	5,173	6,878	75.7%
第04回	H10.10.03	97	8,920	8,550	244	892	5,277	6,413	75.0%
第05回	H11.10.02	100	8,955	8,552	18	111	2,537	2,666	31.2%
第06回	H12.10.07	91	7,847	7,435	155	789	4,182	5,126	68.9%
第07回	H13.10.06	86	7,889	7,457	32	281	3,709	4,022	53.9%
第08回	H14.10.05	88	7,507	7,213	51	298	2,921	3,270	45.3%
第09回	H15.10.04	90	7,799	7,599	10	50	2,347	2,407	31.7%
第10回	H16.10.02	83	6,909	6,587	466	2,127	2,254	4,847	73.6%
第11回	H17.09.30	79	7,724	7,449	77	824	2,267	3,168	42.5%
第12回	H18.10.06	89	8,649	8,396	282	1,275	2,408	3,965	47.2%
第13回	H19.10.05	103	10,677	10,379	355	2,075	3,280	5,710	55.0%
第14回	H20.10.10	102	11,319	11,032	66	570	2,350	2,986	27.1%
第15回	H21.10.09	114	12,459	12,070	489	2,812	4,804	8,105	67.1%
第16回	H22.10.08	127	13,857	13,562	164	1,376	3,835	5,375	39.6%
第17回	H23.10.14	129	15,271	14,935	602	3,616	5,371	9,589	64.2%
第18回	H24.10.12	152	19,205	18,904	4,945	6,747	4,042	15,734	83.2%
第19回	H25.10.11	171	22,774	21,228	238	1,986	6,053	8,277	39.0%
第20回	H26.10.10	176	24,905	24,526	1,156	5,578	7,950	14,684	59.9%
第21回	H27.10.09	185	25,688	25,252	126	1,244	5,221	6,591	26.1%
第22回	H28.10.14	182	24,415	23,958	657	4,677	8,605	13,939	58.2%
第23回	H29.10.13	198	23,856	23,486	1,240	6,930	8,065	16,235	69.1%
第24回	H30.10.12	190	22,416	22,047	221	1,640	4,588	6,449	29.3%
第25回	R01.10.11	178	20,801	20,408	1,463	4,734	5,552	11,749	57.6%
第26回	R02.10.09	177	19,778	19,390	384	2,017	4,960	7,361	38.0%
第27回	R03.10.08	176	19,056	18,486	1,485	4,921	5,740	12,146	65.7%
第28回	R04.10.14	172	17,754	17,235	863	4,357	6,024	11,244	65.2%
第29回	R05.10.13	182	17,566	16,935	810	3,043	4,891	8,744	51.6%
第30回	R06.10.11	165	17,014	16,574	3,314	5,348	3,823	12,485	75.3%
第31回	R07.10.10	168	16,981	16,452	345	1,415	4,260	6,020	36.6%

第31回リスニング英語検定試験成績表

都道府県	学校数	申込者数	受検者数	合格者数 1級	合格者数 2級	合格者数 3級	合格者数 合計	合格率
北海道	5	549	521	24	63	161	248	47.6%
青森	5	344	340	10	47	99	156	45.9%
岩手	7	520	514	4	29	123	156	30.4%
宮城	2	31	30	0	1	9	10	33.3%
秋田	4	764	758	6	43	194	243	32.1%
山形	3	158	157	3	19	44	66	42.0%
福島	6	965	938	28	118	281	427	45.5%
茨城	6	757	726	9	48	184	241	33.2%
栃木	2	118	106	4	5	12	21	19.8%
群馬	2	313	302	16	59	91	166	55.0%
埼玉	2	62	62	4	9	18	31	50.0%
千葉	1	156	156	5	26	56	87	55.8%
東京	5	370	365	10	26	93	129	35.3%
神奈川	—	—	—	—	—	—	—	—
山梨	1	22	19	0	4	5	9	47.4%
新潟	—	—	—	—	—	—	—	—
長野	1	66	65	5	8	24	37	56.9%
富山	2	348	343	8	33	117	158	46.1%
石川	1	115	113	1	10	31	42	37.2%
福井	1	136	134	4	6	36	46	34.3%
静岡	2	81	73	4	8	22	34	46.6%
愛知	22	1,797	1,747	68	180	436	684	39.2%
岐阜	4	137	131	4	19	37	60	45.8%
三重	3	134	132	2	14	33	49	37.1%
滋賀	2	53	49	0	2	15	17	34.7%
京都	3	124	117	6	15	43	64	54.7%
大阪	5	27	27	1	2	7	10	37.0%
兵庫	10	1,055	1,023	6	38	193	237	23.2%
奈良	1	10	10	1	1	2	4	40.0%
和歌山	—	—	—	—	—	—	—	—
鳥取	1	19	19	1	1	7	9	47.4%
島根	3	34	34	1	1	8	10	29.4%
岡山	5	647	626	3	41	179	223	35.6%
広島	4	702	660	10	36	152	198	30.0%
山口	5	431	431	16	63	125	204	47.3%
徳島	1	3	3	0	1	2	3	100.0%
香川	2	64	64	0	5	9	14	21.9%
愛媛	2	61	61	5	6	18	29	47.5%
高知	1	11	11	0	2	3	5	45.5%
福岡	7	1,454	1,399	15	87	342	444	31.7%
佐賀	1	146	139	0	1	9	10	7.2%
長崎	6	1,096	1,076	19	131	370	520	48.3%
熊本	10	1,842	1,749	11	80	325	416	23.8%
大分	2	57	57	2	2	17	21	36.8%
宮崎	1	80	79	1	1	8	10	12.7%
鹿児島	9	1,122	1,086	28	124	320	472	43.5%
沖縄	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	168	16,981	16,452	345	1,415	4,260	6,020	36.6%

おわりに

第31回リスニング英語検定試験は、参加校数168校、受検者数16,452名となりました。参加校は、第30回から3校の微増、受検者数は、約120名の減少となりました。受検者数は、令和3年度実施の第27回と比べ、約1,000名の減少となっています。

本委員会では、合格率を1級5%、2級20%、3級35%、合計60%を目途に作問し、合格基準を1級90点、2級80点、3級70点としています。下表1に今回の概況を示します。

表1 第31回リスニング英語検定の合格者数と合格率

検定級種と度数	1級	2級	3級	全級
合格者数 [人]	345	1,415	4,260	6,020
合格率 [%]	2.1	8.6	25.9	36.6

今回は、本委員会が目処とした合格率の値をすべての級において満たすことができませんでした。全体の合格率は、令和3年度以降では最低となりました。

手元にある資料を基に考察を行います。対象が全数ではなく、サンプル抽出した解答例であることから、全受検者の傾向を如実に表すものではないことをご了承いただき、参考データとしてご覧ください [以下パートをPと記す]。パート毎の正答率を下表に示します。昨年度と比較し、P2、P3の正答率が下がり、特にP3は、18ポイントの大幅減少でした。

パート [P]	P1	P2	P3
正答率 [%]	67	69	60

それでは、正答率が低値であった問題について考察します。P1では、問9の正答率が低値ですが、例年出題されている問題です。工具の名称を理解しておくことが大切です。P2では、問3と問6が低値でした。特に、問6は、計算結果の数値「1.5」を「three divide by two」と理解して聞き取ることがポイントとなります。P3では、問1、6、9の正答率が極めて低値でした。問6は、ロボットを何人で製作したのか、ハヤトに加えて他に2人という内容を理解し、合計3人と回答することになります。人数表現が直接的ではないことから難しい設問でした。問9は、作業時間を合計して回答する難しい設問でした。このように、当委員会は、単語の聞き取りだけでは正答を導き出せない出題を例年設定し、思考力の育成にも着眼して作問しております。ぜひ、本検定を通して、英語の聞き取り内容を理解する力を向上させていただければ幸いです。

最後となりましたが、令和7年度 第31回リスニング英語検定試験が、皆様の御支援により終了しましたことに御礼を申しあげるとともに、本検定が工業教育を学ぶ生徒たちにとって、一層、有意義な学びの機会となりますよう精進してまいります。今後とも積極的にご活用くださいますようお願いいたします。

リスニング英語検定委員会

第31回リスニング英語検定試験

実施細則・試験問題・スクリプト・解答

第3 1 回リスニング英語検定試験実施細則

- | | | |
|------------------|-------------|--|
| 1. 主 | 催 | 公益社団法人全国工業高等学校長協会 |
| 2. 趣 | 旨 | 国際社会に貢献できる人材の育成を目指し、基礎的・基本的な工業技術英語の表現や会話のリスニング能力を向上させることを目的とする。 |
| 3. 基 準 日 | | 令和7年10月10日（金） 試験時間約30分 |
| 試 験 期 間 | | 令和7年10月10日（金）～10月18日（土）
試験実施日を基準日以外に定める時は、案内文書に同封した「検定試験の実施日の変更を希望する場合の処置について」に従い処理をすること。 |
| 4. 採 | 点 | 学校ごとに定める委員会で、別に定める解答により行う。 |
| 5. 合 格 の 基 準 | | 70点以上得点した者を合格として、90点以上を1級、80点以上を2級、70点以上を3級に認定する。 |
| | 採 点 上 の 注 意 | 2回以上採点を確認すること。 |
| 6. 合 格 の 決 定 | | 学校ごとに定める委員会で審査し、当核学校長が可否を決定する。決定後結果を発表しても良い（問題・答案の返却は1ヵ月後を目途として行う）。 |
| 7. 合 格 証 書 交 付 | | 合格者には合格証書を交付する。実施校は別に定める 各種検定試験WEB入力手順に従い令和7年10月31日（金）までにWEB上で報告すること 。これにより、12月初旬頃主催者から合格証書が実施校へ送付されてくる。
(参考に、 本検定用の「WEB報告の概略」 を同封しております。) |
| 8. 合 格 証 書 の 記 入 | | 合格証書の氏名・生年月日は、学校が記入すること。合格証書認定年月日、実施回数については記入してある。 |
| 9. 試 験 問 題 の 処 理 | | 試験問題の漏洩を防ぐため、問題・答案の返却は1ヵ月後を目途として行うこと。 |
| 10. 試験実施上の注意 | | ① 試験問題は表紙を上にして配付すること。
② 試験開始から終了まで全て問題CDの放送によって指示される。
③ 解答は問題用紙に記入させても、直接解答用紙に記入させてもどちらでもよいものとする。尚、問題用紙に記入させた場合は、試験終了直後に、解答用紙に書き写す時間を与えること。
※ ③は、CDの放送による指示は特にないので、どちらにするのかを必ず試験開始前に受検者全員へ伝えておくこと。 |
| 11. そ の 他 | | 不明の点は下記にお問い合わせください。
公益社団法人 全国工業高等学校長協会
TEL 03-3261-1500
FAX 03-3261-2635
E-mail mizuno@zenkoukyo.or.jp
リスニング英語検定担当 水野静佳 |

第31回

リスニング英語検定試験問題

(問題・解答用紙)

注 意 事 項

1. 解答はすべてCDの指示にしたがって行ってください。試験時間はおよそ30分です。途中休憩はありません。
2. 問題用紙と解答用紙は別になっています。
3. 問題はPart1、Part2、Part3に分かれており、Part1、Part2には各10問、Part3には20問あります。
4. 印刷不鮮明のところ以外は、CDの内容、問題についての質問はできません。
5. 問題用紙、解答用紙の決められた欄に、科・学年・組・受検番号・氏名を記入してください。
6. 問題用紙、解答用紙の両方とも提出してください。

科		学年・組		受検番号		氏名	
---	--	------	--	------	--	----	--

公益社団法人 全国工業高等学校長協会

Part 1

Part 1 は、英文の内容に合う絵を選ぶ問題です。

問題は全部で10問あります。

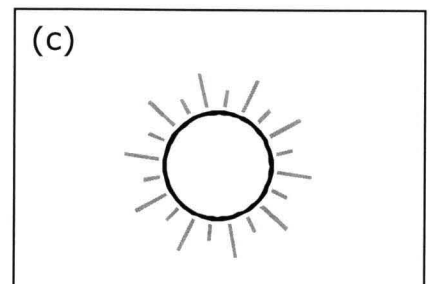
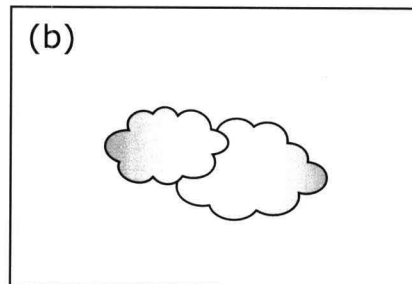
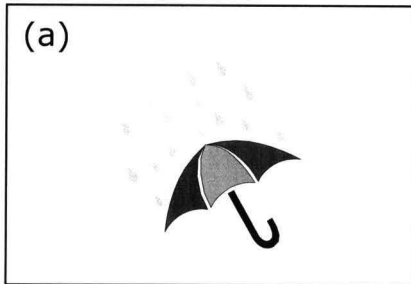
問題番号の後に、短い英文が少し間をおいて、続けて2回読めます。

問題番号のところに、3つの絵が印刷されていますので、英文の内容に合うと思う絵の記号を1つだけ○で囲んでください。

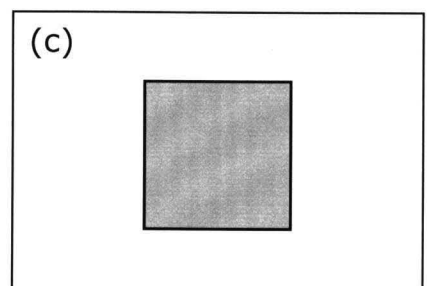
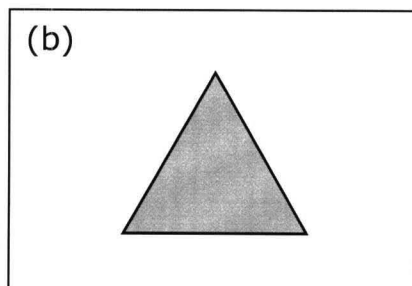
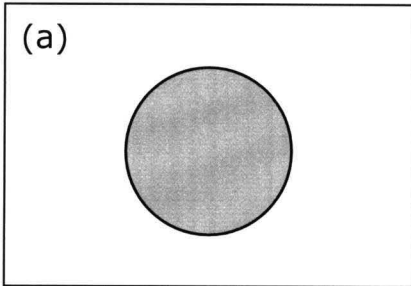
それでは始めます。

Part 1 の問題

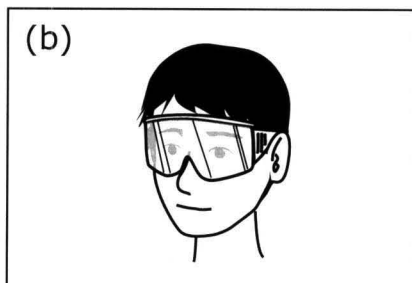
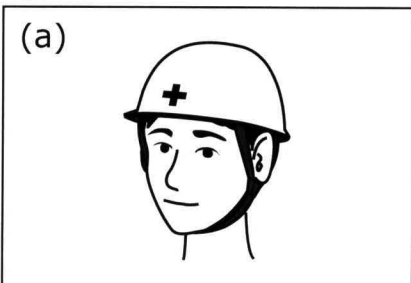
1.



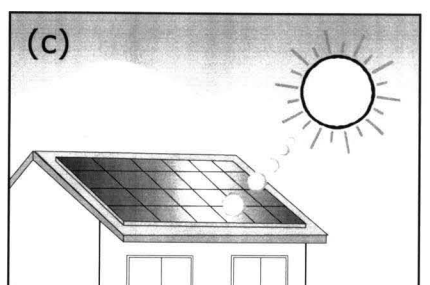
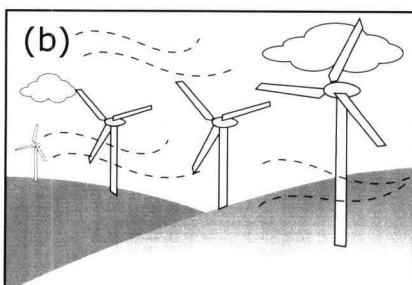
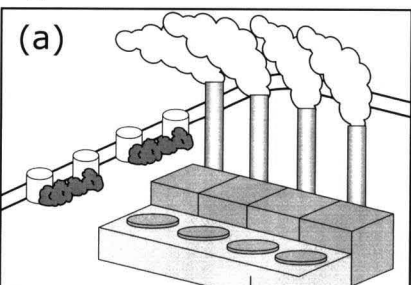
2.



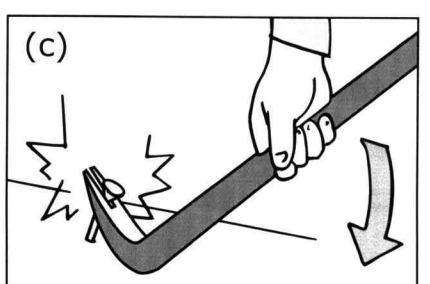
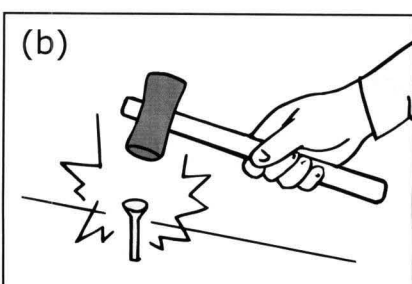
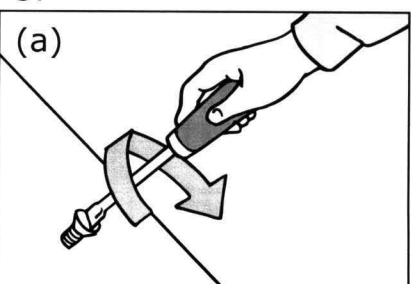
3.



4.



5.



6.

(a)

$$2x^2 + 2x + 1 = 0$$

(b)

$$2x^2 + x - 1 = 0$$

(c)

$$x^2 + x - 1 = 0$$

7.

(a)

m

(b)

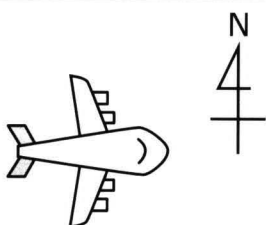
m^2

(c)

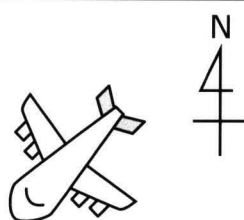
m^3

8.

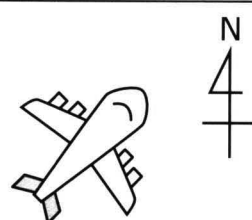
(a)



(b)

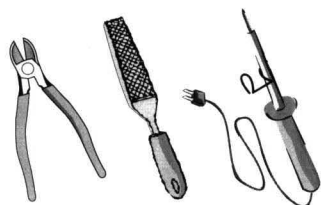


(c)

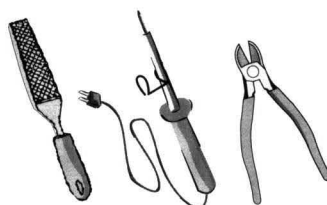


9.

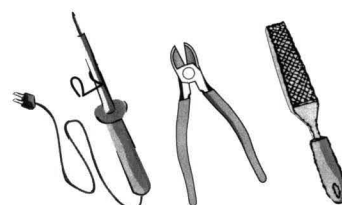
(a)



(b)

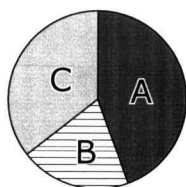


(c)

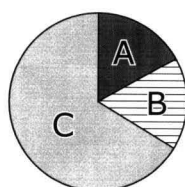


10.

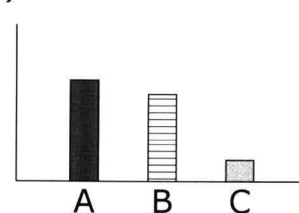
(a)



(b)



(c)



以上で、**Part 1** を終わります。

Part 2

Part 2 は、絵の内容に合う英文を選ぶ問題です。

問題は全部で10問あります。

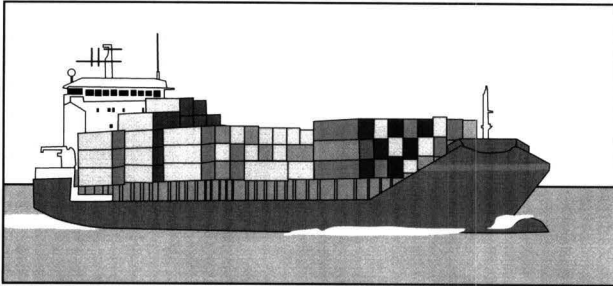
問題番号の後に、(a)、(b)、(c) の3つの英文が少し間をおいて、2回読まれます。((a)、(b)、(c)、(a)、(b)、(c)の順)

問題番号のところに、(a)、(b)、(c)の記号が印刷されていますので、絵の内容に合うと思う記号を1つだけ○で囲んで下さい。

それでは始めます。

Part 2 の問題

1.

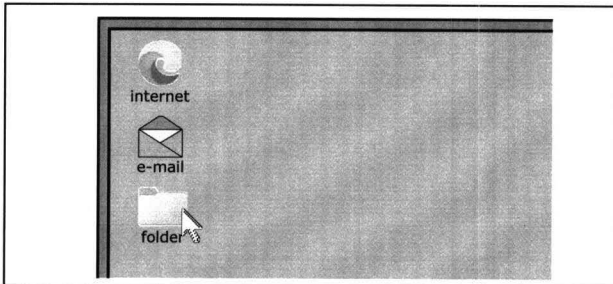


(a)

(b)

(c)

2.

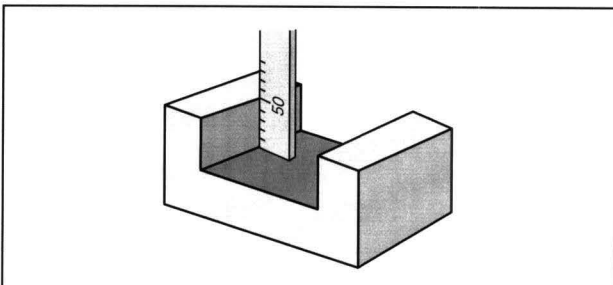


(a)

(b)

(c)

3.

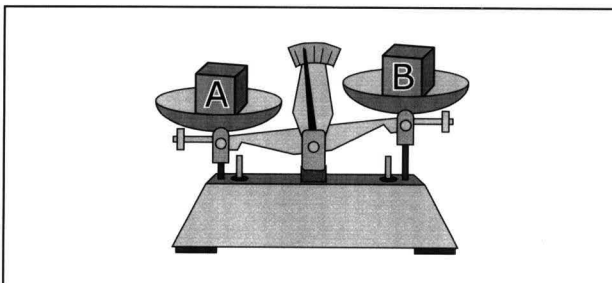


(a)

(b)

(c)

4.



(a)

(b)

(c)

5.

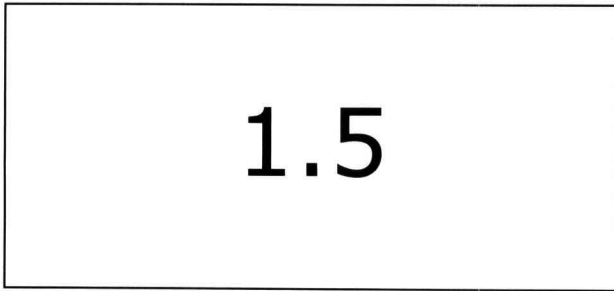


(a)

(b)

(c)

6.



(a)

(b)

(c)

7.

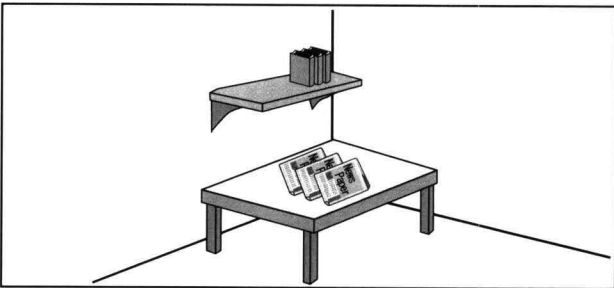
11 日	12 月	13 火	14 水	15 木	16 金	17 土
		会議				

(a)

(b)

(c)

8.

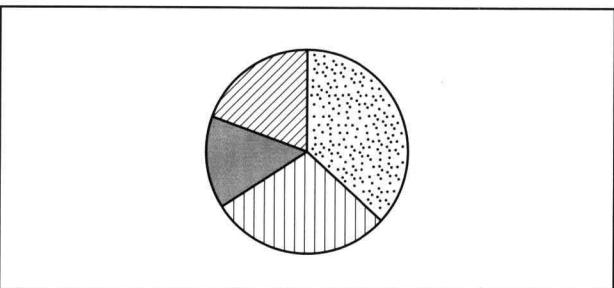


(a)

(b)

(c)

9.

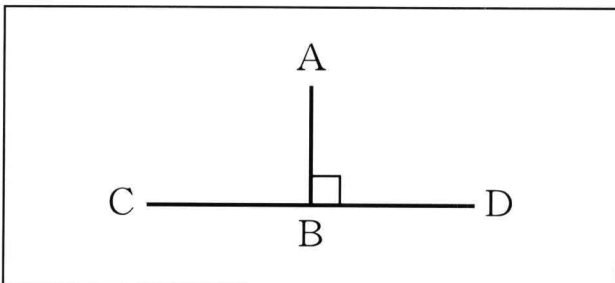


(a)

(b)

(c)

10.



(a)

(b)

(c)

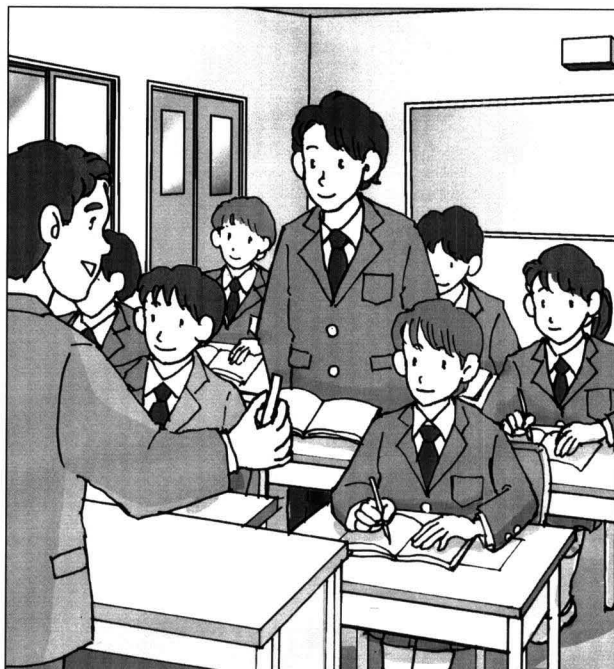
以上で、**Part 2** を終わります。

Part 3

Part 3 は、英文を聞いて、質問に答える問題です。
A～Jまでの10の場面があります。1つの場面についての質問は2つずつです。
それぞれ2回読まれます。(英文、質問、英文、質問の順)
質問の答えとして、(a)、(b)、(c)の3つが印刷されていますので、正しい
と思うものを1つだけ選んで、その記号を○で囲んでください。
それでは始めます。

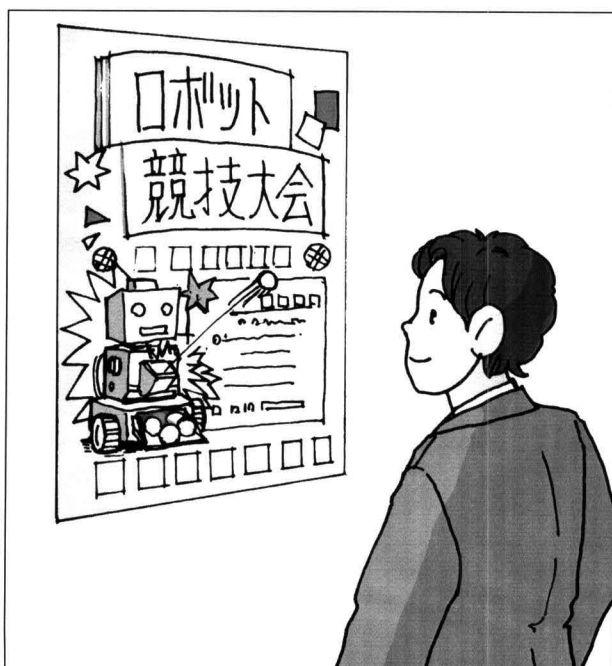
Part 3 の問題

A



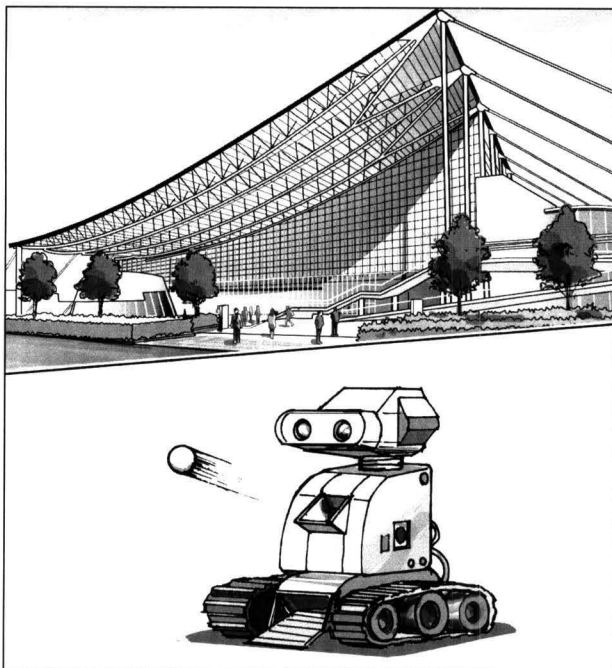
1. (a) The mechanical engineering course
(b) The mechatronics engineering course
(c) The electrical engineering course
2. (a) The volleyball club
(b) The basketball club
(c) The handball club

B



3. (a) In the classroom
(b) In the staff room
(c) In the corridor
4. (a) His friend
(b) His parents
(c) His homeroom teacher

C



5. (a) September

(b) October

(c) November

6. (a) Two

(b) Three

(c) Four

D



7. (a) A controller to operate the robot

(b) A mechanism to pick up balls

(c) A robot frame

8. (a) Aluminum

(b) Wood

(c) Plastic

E



9. (a) Four hours

(b) Six hours

(c) Nine hours

10. (a) They changed the diameter of the wheels.

(b) They changed the motor.

(c) They reinforced the robot with plastic plates.

F



11. (a) The appearance of the robot

(b) The operation techniques

(c) The gender of the operator

12. (a) Hayato

(b) Erika

(c) Keisuke

G



13. (a) Shinkansen

(b) Airplane

(c) Bike

14. (a) By airplane

(b) By Shinkansen

(c) By truck

H



15. (a) Tennis balls

(b) A soldering iron

(c) The robot

16. (a) Hokkaido

(b) Chiba

(c) Hyogo

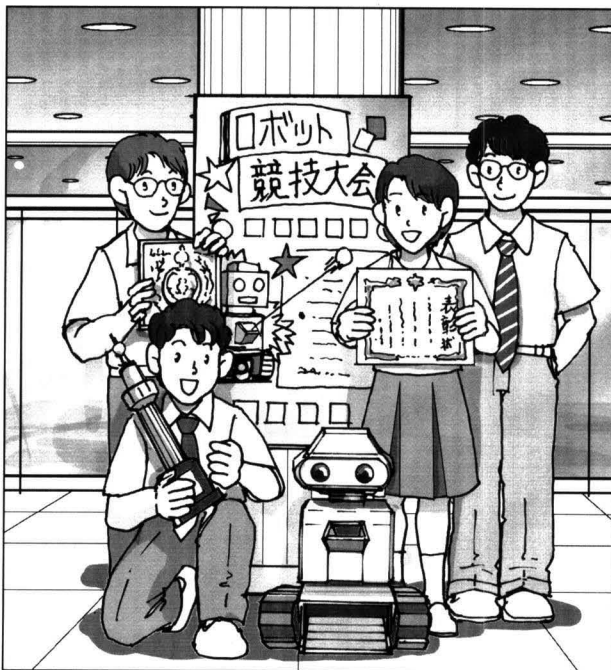
I



17. (a) Seven
(b) Eighteen
(c) Twenty-five

18. (a) She was nervous.
(b) She was cheerful.
(c) She was calm.

J



19. (a) They came in third.
(b) They came in second.
(c) They came in first.
20. (a) Their families
(b) Their friends
(c) Hayato

以上で、リスニング英語検定を終わります。問題用紙と解答用紙を両方とも提出してください。

第31回

リスニング英語検定解答用紙

[解答方法]：各問題の a、b、c のうち、一つだけ選んで○で囲んでください。
※太枠内には記入しないでください。

Part 1 (各 2 点)		Part 2 (各 2 点)		Part 3 (各 3 点)	
問題番号	解答欄	問題番号	解答欄	問題番号	解答欄
1	a b c	1	a b c	1	a b c
2	a b c	2	a b c	2	a b c
3	a b c	3	a b c	3	a b c
4	a b c	4	a b c	4	a b c
5	a b c	5	a b c	5	a b c
6	a b c	6	a b c	6	a b c
7	a b c	7	a b c	7	a b c
8	a b c	8	a b c	8	a b c
9	a b c	9	a b c	9	a b c
10	a b c	10	a b c	10	a b c
Part 1 得 点		Part 2 得 点		11	a b c
				12	a b c
				13	a b c
				14	a b c
				15	a b c
				16	a b c
				17	a b c
				18	a b c
				19	a b c
				20	a b c
				Part 3 得 点	

科		学年・組		受検番号		氏名	
---	--	------	--	------	--	----	--

得点		合否及び合格の級	合否	級
----	--	----------	----	---

Part One

No. 1

It's rainy today, so the event will be canceled.

No. 2

This is a triangle.

No. 3

Put on safety glasses.

No. 4

Solar energy doesn't pollute the air.

No. 5

I drive a nail with a hammer.

No. 6

Two x squared plus x minus one equals zero.

No. 7

This is a unit of length.

No. 8

The airplane is flying toward the northeast.

No. 9

The nippers are between the file and the soldering iron.

No. 10

According to the pie chart, A and B combined produce more than half of the total amount.

Part Two

No. 1

- (a) The containers are transported by airplane.
- (b) The containers are transported by ship.
- (c) The containers are transported by train.

No. 2

- (a) Please click the Internet icon to access websites.
- (b) Please click the e-mail icon to check your mailbox.
- (c) Please click the folder icon to open it.

No. 3

- (a) The width is 50 mm.
- (b) The radius is 50 mm.
- (c) The depth is 50 mm.

No. 4

- (a) A is heavier than B.
- (b) A is lighter than B.
- (c) B is heavier than A.

No. 5

- (a) Push the button in case of trouble.
- (b) Pull the rope in case of trouble.
- (c) Call the police in case of trouble.

No. 6

- (a) One plus five makes this number.
- (b) Three divided by two makes this number.
- (c) One point five multiplied by two makes this number.

No. 7

- (a) We have a meeting on Friday.
- (b) We have a meeting on Thursday.
- (c) We have a meeting on Tuesday.

No. 8

- (a) Some books are on the shelf.
- (b) Some newspapers are under the table.
- (c) Some books are on the table.

No. 9

- (a) This is a pie chart.
- (b) This is a line graph.
- (c) This is a bar graph.

No. 10

- (a) Line AB is parallel to line CD.
- (b) Line AB is at a right angle to line CD.
- (c) Line AB is diagonal to line CD.

Part Three

A

Hayato is a third-grade student at Sakura Technical High School in Hyogo. He was wondering if he should enter either the mechanical engineering course or the mechatronics engineering course.

He was hoping to get a job related to robot design in the future, so he decided to enter the mechatronics engineering course. He likes playing sports and is in the basketball club.

Question 1: What course is Hayato in?

Question 2: What club is Hayato in?

B

One day, in April, Hayato took a look at a poster in the corridor about a robot competition. He wanted to make a robot and take part in the competition, so he talked about that with his homeroom teacher, Mr. Imai.

Hayato: I'm interested in the robot competition.

Mr. Imai: You should give it a try! It looks like others besides you are interested in entering the robot competition, so I'll contact you again once the members are decided.

Question 3: Where was the poster about the robot competition?

Question 4: Who did Hayato talk to when he wanted to take part in the robot competition?

C

The robot competition is held at the end of September in Chiba for two days. In the robot competition, students operate a robot to pick up tennis balls in the area and throw them at 25 plastic bottles lined up in the distance. It is a competition to see how many bottles can be knocked down. Besides Hayato, there were two other students at Sakura Technical High School who hoped to make a robot and take part in the competition. They started to make a robot.

Question 5: What month is the robot competition held in?

Question 6: Including Hayato, how many students are making the robot?

D

One of the members of the robot-making team is Erika. She is in the electrical engineering course and is good at assembling electronic circuits. The third member of the team is Keisuke. He is in the mechanical engineering course and is good at lathe work. The three of them thought about how to knock down all the plastic bottles quickly and started to design a robot.

Erika: I'll make a controller to operate the robot.

Hayato: Thank you, Erika. Can you start with designing a mechanism for picking up balls, Keisuke?

Keisuke gave a big nod and an OK sign. To reduce the weight of the robot's frame, Hayato decided to make it out of aluminum.

Question 7: What is Erika in charge of making?

Question 8: What will they use to make the robot's frame?

E

They spent the summer vacation making the robot almost every day from 9 to 12 in the morning, and from 1 to 4 in the afternoon. Although they were also busy with club activities and job hunting, it was very enjoyable to see the robot gradually taking shape. During the trial run, they decided to change the motor in order to increase the power for shooting tennis balls.

Question 9: How many hours were spent on robot production each day?

Question 10: What measures were taken to increase the power for shooting tennis balls?

F

One day during the summer vacation, they completed the robot. They were so happy about its completion. From that point on, they had to adjust the robot's movements in detail while practicing for the competition. In the robot competition, the operation techniques, in addition to the robot's appearance, affect their score.

Hayato: Keisuke and I will help you, but can you take charge of operating the robot, Erika? I'm sure you are the best at it among us.

Erika: Ok! I'll do my best!

Question 11: Which does **not** affect the score of the robot competition?

Question 12: Who will operate the robot?

G

On the day before the competition, the three students, along with Mr. Imai, began their three-day trip to Chiba. They took a Shinkansen, while the robot and other equipment were transported by truck.

(sound) ※Shinkansen

They saw a majestic view of Mt. Fuji through the window.

Question 13: What transportation was used to travel to Chiba?

Question 14: How were the robot and other equipment transported?

H

The next day, Day 1 of the competition, when they arrived at the venue, students and robots from all over the country had gathered. Every robot was unique and had a device to pick up tennis balls smoothly and shoot them effectively. The preliminary round would be held in the afternoon.

Hayato: Oh! We forgot to bring tennis balls for a trial run!

They were at a loss, but a student from Hokkaido talked to them.

One of the students from Hokkaido: If you'd like, please use our tennis balls.

Thankfully, they were able to finish the trial run.

Question 15: What did they forget to bring?

Question 16: Where was the student who helped them from?

I

In the preliminary round, Erika was feeling nervous.

They were not perfect, but they successfully knocked over 18 plastic bottles out of 25.

After the preliminary round, they stayed up late at the hotel preparing for the finals the next day.

On the day of the finals, Erika calmly managed to operate the robot, unlike the previous day. Thanks to good support from Hayato and Keisuke, the robot was able to knock over all 25 plastic bottles successfully.

Question 17: In the preliminary round, how many plastic bottles did Hayato's team knock over?

Question 18: How was Erika at the finals?

J

Many teams knocked over all the plastic bottles, so the results were determined by how quickly each robot finished. Hayato's team knocked over all the plastic bottles in less time than the other teams, winning the championship.

Their families had come up to Chiba to cheer them on and they were so happy. Through the process of making the robot, Hayato and the other members learned that manufacturing is a succession of trial and error. They also learned the importance of not giving up and of cooperating with each other.

Question 19: What place did Hayato's team finish in?

Question 20: Who had come to cheer them on?

第31回

リスニング英語検定解答用紙

[解答方法]：各問題の a、b、c のうち、一つだけ選んで○で囲んでください。
※太枠内には記入しないでください。

Part 1 (各 2 点)		Part 2 (各 2 点)		Part 3 (各 3 点)	
問題番号	解答欄	問題番号	解答欄	問題番号	解答欄
1	a b c	1	a b c	1	a b c
2	a b c	2	a b c	2	a b c
3	a b c	3	a b c	3	a b c
4	a b c	4	a b c	4	a b c
5	a b c	5	a b c	5	a b c
6	a b c	6	a b c	6	a b c
7	a b c	7	a b c	7	a b c
8	a b c	8	a b c	8	a b c
9	a b c	9	a b c	9	a b c
10	a b c	10	a b c	10	a b c
Part 1 得 点		Part 2 得 点		11	a b c
				12	a b c
				13	a b c
				14	a b c
				15	a b c
				16	a b c
				17	a b c
				18	a b c
				19	a b c
				20	a b c
				Part 3 得 点	

科		学年・組		受検番号		氏名	
---	--	------	--	------	--	----	--

得点		合否及び合格の級	合否	級
----	--	----------	----	---